

中学校保健体育科採点基準

3枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)	採 点 上 の 注 意	配 点		
1	(ア) 合理的		各2×8	20	
	(イ) 体力				
	(ウ) 基本的				
	(エ) 思考				
	(オ) 伝える力				
	(カ) 協働				
	(キ) 責任				
	(ク) 参画				
2	①, ②, ③, ④	全部合っているものだけを正答とする。	4		
2	1	水中では肺に水圧がかかるので、陸上と比べて息を吐くことは簡単にできるが、逆に息を吸うのが難しくなる。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8	20
	2	<ul style="list-style-type: none"> 足をそろえて足首までしっかり伸ばす。 頭を下げて体を一直線にする。 二の腕で耳か、耳の後ろを挟むようにする。 手をそろえて前方にしっかり伸ばす。 お腹をへこませて姿勢を安定させる。 	3つ書かれていればよい。 順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各4×3	
3	1	<ul style="list-style-type: none"> 体の柔らかさを高めるための運動 巧みな動きを高めるための運動 力強い動きを高めるための運動 動きを持続する能力を高めるための運動 	順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各3×4	30
	2	<ul style="list-style-type: none"> だれもが簡単に取り組むことができる運動 仲間と楽しくできる運動 心と体が弾むような軽快な運動 	順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各4×3	
	3	<ul style="list-style-type: none"> 関節には可動範囲があること。 同じ運動をし過ぎると関節に負担がかかること。 関節に大きな負荷がかからない姿勢があること。 体温が上がると筋肉は伸展しやすくなること。 	2つ書かれていればよい。 順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各3×2	

中学校保健体育科採点基準

3枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)	採 点 上 の 注 意	配 点								
4	(1)	<ul style="list-style-type: none"> 正しい投球が地面につく前にストライクゾーンを通過したとき。 正しい投球を打者が空振りしたとき。 ファウルチップになったとき。 ツーストライクになる前に打球がファウルボールになったとき。 正しい投球が空振りされ、打者の身体のどの部分にでも触れたとき。 ツーストライクになる前に、打者席内にいる打者に打球が当たったとき。 ストライクゾーンで投球が打者に触れたとき。 球審がプレイを指示したのち、打者が10秒以内に打撃姿勢をとらなかったとき。 	3つ書かれていればよい。 順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各2×3							
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> 打者走者が、一塁に触れる前に第3アウトになったとき。 走者のフォースアウトが第3アウトのとき。 先行する走者がその回の第3アウトになったとき。 走者が離塁違反でその回の第3アウトになったとき。 第3アウトがアピールによって有利な第4アウトと置き換えられたとき。 	2つ書かれていればよい。 順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各3×2							
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> 打者が空振りして第3ストライクになった球が、打者の身体の一部に触れたとき。 第3ストライクが捕手に正しく捕球されたとき。 無死または一死で、一塁に走者がいて、打者が第3ストライクになったとき。 打者がツーストライク後にバントした打球が、ファウルボールになったとき。(スリーバントアウト) 打者が片足でも完全に打者席の外に踏み出したり、本塁に触れたりして打ったとき。 打者が打者席外に足を完全に踏み出し、再び打者席内に戻って投球を打ったり、バットに当てたりしたとき。 打者がバットを手から離して打ったとき。 打者が不正バットを持って打者席に入ったとき。 打者が変造バットを持って打者席に入ったとき。 投手の軸足が投手板に触れたのち、打者が反対側の打者席に移ったとき。 打者が打者席外に足を踏み出して、捕手の捕球や送球を妨害したとき。 打者が打者席内にいても、故意に捕手を妨害したり、本塁上のプレイを妨害したとき。 打者が打者席内または打者席外で故意に送球を妨害したとき。 	3つ書かれていればよい。 順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各2×3							
2	(1)	相手の下回転のボールを下回転で低く浅く返球する打法	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	4							
	(2)	シングルのサービスは、自分のコートと相手のコートに1度ずつバウンドすればどこにバウンドしてもよいが、ダブルスのサービスは、ボールが最初に自分側のコートの右半分にバウンドして、続いて相手側のコートの右半分にバウンドしなければならない。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	7							
	(3)	<table border="1"> <tr> <td>打ち方</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ラケットの面を左側に向けて当てる。 ボールの右側をこするように打つ。 </td> <td>1つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>理由</td> <td>向かってくる打球には右回転が掛かっており、真っ直ぐ打ち返すには、打球の右回転を無くすように打ち返さなければならないため。</td> <td>内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。</td> <td>7</td> </tr> </table>	打ち方	<ul style="list-style-type: none"> ラケットの面を左側に向けて当てる。 ボールの右側をこするように打つ。 	1つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	7	理由	向かってくる打球には右回転が掛かっており、真っ直ぐ打ち返すには、打球の右回転を無くすように打ち返さなければならないため。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	7	
打ち方	<ul style="list-style-type: none"> ラケットの面を左側に向けて当てる。 ボールの右側をこするように打つ。 	1つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	7								
理由	向かってくる打球には右回転が掛かっており、真っ直ぐ打ち返すには、打球の右回転を無くすように打ち返さなければならないため。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	7								

43

中学校保健体育科採点基準

3枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点
5	1 人々が自らの健康をコントロールし、改善できるようにするプロセスと定義されている。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	6
	2 ・発生源をなくすこと。 ・感染経路を遮断すること。 ・主体の抵抗力を高めること。	順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各2×3
	3 性感染症は自覚症状がはっきりしないことや羞恥心などから、医療機関を受診しにくいといった現状があり、未自覚のまま感染したり、パートナーを感染させたりする可能性が高い。また、終生免疫を得られず、パートナーも同時に治療しなければ再感染のリスクが高いことが原因と考えられる。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10
6	1 ・相手を制しながら大きなインパクトを伴って、背が畳に着くように相当な強さと速さをもって投げたとき。 ・抑え込みの宣告から20秒間抑え込んだとき。 ・絞め技と関節技によって、相手が戦意を喪失したとき。 ・相手が「参った」と言うか、手か足で2度以上叩いたとき。 ・2回目の「技あり」をとったとき。	2つ書かれていればよい。 順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各4×2
	2 図1 前回りさばき		各3×2
	2 図2 後ろさばき		各3×2
	3 図1 背負い投げ 図2 大腰 図3 釣り込み腰		各3×3
		4 相手が受け身を取りやすくし、頭などを打たないようにするため。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。
7		1 技がよりよくできることや自己に適した技で演技すること。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。
	2 背中をマットに接して回転する技群	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	5
	3 図1 前方ツーステップ 図2 かかえ込み跳び		各2×2
		4 波動	
	5 要因 ①顎を引いているため、身体を反らすことができない。 ②手をつく位置が遠く、足の蹴る勢いが弱い。 ③手の突き放しができていない。 指導上の工夫点 ①手の間に何かを置き、それを見ながら倒立ブリッジを行う。 ②助走からホップ（弾む動き）から補助倒立や壁倒立を行う。 ③ロイター板をマットの下に入れ、ロイター板に手をついて行う。	2つ書かれていればよい。 問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。 ・要因と指導上の工夫が対応しているものだけを正答とする。	要因各3×2、指導上の工夫各7×2